

みんなでやらいや!

～まちづくり活動報告～(第20回)

第3回大山町未来づくり

交流会開催!

7月13日(土)、保健福祉センターなわで「第3回大山町未来づくり交流会」がありました。この交流会は、本町でまちづくりに取り組むさまざまな団体・グループが集まり、お互いの情報共有や連携・協力の呼びかけを行う「交流の場」として開いたものです。今回は、講演、まちづくり活動団体報告、交流会(ワークショップ)を行いました。



▲講演に熱心に耳を傾ける参加者

講演

岡山県玉野市で、住民主導のまちづくりに関わっている「うのづくり」の森岡友樹さんにお話をいただきました。

うのづくりは、宇野築港界隈を楽しくにぎやかにすることを目的に、若手クリエイターを全国あるいは世界から呼び込もうとする移住プロジェクトです。

森岡さんのまちづくり活動は「やりたいからやっている(趣味)。自分が楽しいまちになること、すなわち全力で趣味を全うすると地域が活性化する」という考えが原動力。

手に職がある人、カップル、期間、人数、誰が何をするのかといった課題に対して具体的に目標を設定し、理論を持って手を打ち、移住者を増やしたとのことでした。また、しっかりと現状を把握するためには「素直に疑う」ということを行い、判断、行動、検証を繰り返すことが重要と話されました。



▲講師の森岡友樹さん



▲「ハンモック村をつくる」といったユニークなアイデアも飛び出しました(交流会)

交流会(ワークショップ)

「若者の移住定住のために地域・集落・活動団体でできることは？」をテーマに、参加者のみなさんと交流を行いました。

ワークショップは、移住者と定住者さらに年代別にグループ分けし、話し合いました。話し合いの中で、集落、食、娯楽、イベント、仕事、情報、住みやすさ、つなぎ役など自分たちでできる可能性がたくさんあることが確認され、参加者からは「今後の活動の参考になった」などの声が聞こえました。また、団体同士で名刺交換も行われ、会場内は、まちづくりの輪ができていました。